

大学職員セミナーに参加して

～激動の時代に輝く大学を創る～



教育学生支援部

谷中 恭伸
宮川 裕司

本学における研修の趣旨

◆ FD／SD／TAD三位一体型能力開発

文部科学省の大学改革推進等補助金の1つである
「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」(平成18~20年度)

- FD
ファカルティ・ディベロップメント(教員の能力開発)
- SD
スタッフ・ディベロップメント(職員の能力開発)
- TAD
ティーチング・アシstant・ディベロップメント(授業補助者の能力開発)



研修の概要①

◆ 第19回 大学職員セミナー

【主催】財団法人 大学セミナーハウス

◆ 共通テーマ

激動の時代に輝く大学を創る
～職員の役割を問う～

◆ 目的

- 課題解決能力とプレゼンテーション能力の向上**
⇒将来を見据えたトータルマネジメント力を養う
- 国公私立大学の人的ネットワークの構築**



研修の概要②

◆ 日程とテーマ

● 第Ⅰ回

平成20年7月11日(金)～12日(土)

あらためて総合的学生支援体制のあり方と職員のあり方を問う

● 第Ⅱ回

平成20年9月19日(金)～20日(土)

FDとSD、教員と職員の連携を通して、職員の役割を問う

● 第Ⅲ回

平成20年11月14日(金)～15日(土)

地域協力と国際化戦略、それぞれの大学における現状を通して、職員の役割を問う



愛媛大学は、平成17年8月に制定した「大学憲章」において「大学が次代を担う若い世代を育てる教育機能であるという原点に立ちる」と宣言し、教育を重視する姿勢を鮮明にしました。

「学生中心の大手づくり」のため、本学では様々な学生支援を行っています。

教育・学生支援機構長 柳澤康信

愛媛大学教育支援プログラム

「FD/SD/TAD

三位一体型能力開発」

質の高い
大学教育推進プログラム
(教育GP)

国際
交流
International exchange

愛媛大学の目標の一つに、
「地域社会、国際社会のなかで主体的に生きるために必要な
自己実現のための基礎能力としての知の運用能力と
国際的コミュニケーション能力を高く重視する。」を掲げています。
今後、社会では更に国際的コミュニケーション能力の
有無や質が問われる事になるでしょう。

本学の研究、教育の発展においても、
海外との交流は不可欠な要素です。
本学では、「国際交流センター」をはじめさまざまな形で、
学生の留学支援、大学間の国際交流などを行っています。

国際交流センター長 弓削慎洋



EHIME 大学
UNIVERSITY

研修の内容①

◆ 講演

- I { ● 教員・職員・学生の協働による教育改善をめざして
…文部科学省高等教育局学生支援課長
- II { ● 多様化する学生支援～現状と課題～
…名古屋大学高等教育研究センター長
- III { ● 大学職員の役割と変化と期待～プロフェッショナル・スタッフを目指して～
…広島大学高等教育研究開発センター長
- 高等教育改革をめぐる政策動向を見る眼
…文部科学省大臣官房人事課長
- 大学改革の現状と課題
…文部科学省高等教育局長
- 大学の地域協力と国際化戦略～立命館アジア太平洋大学の事例～
…立命館アジア太平洋大学スチューデントサポートセンター課長



講演の内容(抜粋)

◆ 立命館アジア太平洋大学(APU)の事例

● 開学

- ・2000年4月に開学(大分県、別府市、学校法人立命館の三者の**公私協力事業**)

● 留学生

- ・学生5,800人のうち、留学生(81ヶ国)が2,600人(**44%**)

● 特色

- ・**学生寮(1,300室)**を設置⇒入学後1年間の入居を保証
- ・退寮後、民間住居契約の際には、大学が連帯保証

● 地域貢献

- ・地域から200億円+ α の支援⇒**地域貢献は義務**
- ・アルバイトの斡旋(年間延べ1,500人)
- ・地域活動と一体となった授業開発⇒観光・マーケティング等
- ・留学生と地域住民等とのトラブルの仲介



研修の内容②

◆ グループディスカッション

- ・各テーマ毎(第Ⅰ～Ⅲ回)
- ・4～5グループ(別々の部屋で)
- ・各グループに**ファシリテーター**1人



会議の場などで、発言を促したり、話の流れを整理したり、参加者の認識の一致を確認したりする行為で介入し、相互理解を促進し、合意形成へ導きグループを活性化(協働を促進)させる者



◆ 発表

- ・事後レポート(個人)
- ・事前レポート(個人)
- ・グループディスカッションのまとめ(グループ)

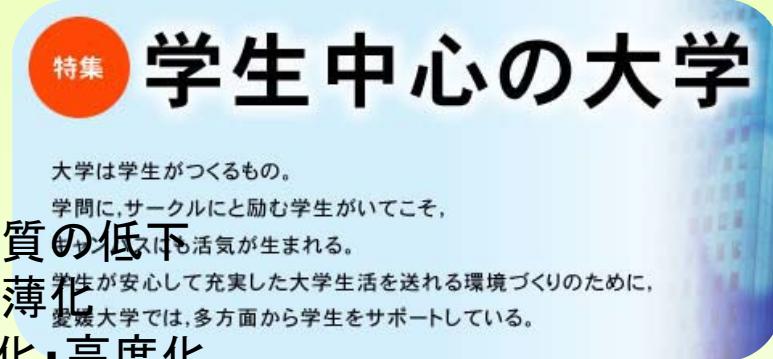


グループディスカッションの内容①

◆ 総合的学生支援体制

● 今、何故?の背景

- ・少子化に伴う18歳人口の減少⇒学生の質の低下
- ・価値観の多様化⇒学生の目的意識の希薄化
- ・社会情勢の変化⇒企業のニーズの多様化・高度化



● 学生支援の新たな内容

- ・学生による学生支援⇒同じ目線から
- ・学生が何でも相談できる窓口⇒私生活の相談も
- ・教員・職員・学生が参加できる全学的なイベントの開催⇒スポーツ大会等



● 職員の果たす役割

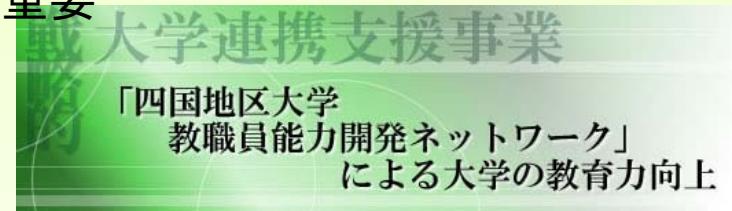
- ・個人のスキルアップ⇒研修の実施・参加等
- ・組織力の強化⇒事務組織の一元化等
- ・学生に「人間力」を身につけさせる⇒学生が人と関わる「場所」や「機会」を提供

グループディスカッションの内容②

◆ FDとSD、教員と職員の連携

● 背景

- ・FDの義務化(2008年度)⇒各大学が組織的に実施する
- ・SDは義務化されていない⇒しかしながら、重要



● FDとSDの共通点

- ・意識改革⇒自律的、自発的なものにする
- ・目的の共有化⇒良い人材を社会に輩出すること

● 円滑な教職協働を行うために

- ・それぞれの役割を認識すること
- ・それが職責を全うする能力を身につけること
- ・相手を理解し、お互いが歩み寄ること



グループディスカッションの内容③

◆ 地域協力と国際化戦略

● 現状

- ・様々な地域協力を実施⇒国公私立大学それぞれの特徴を活かしたもの
- ・留学生30万人計画(文部科学省等)⇒2020年度

● 留学生

- ・受け入れ⇒地域との協力が不可欠
- ・目的意識が高い⇒日本人学生にとって、よい刺激となる

● 職員にできること

- ・地域と留学生との橋渡しをすること
- ・留学生に情報を発信すること
- ・それらを継続できる環境を作ること



日程の詳細

◆ 金曜日

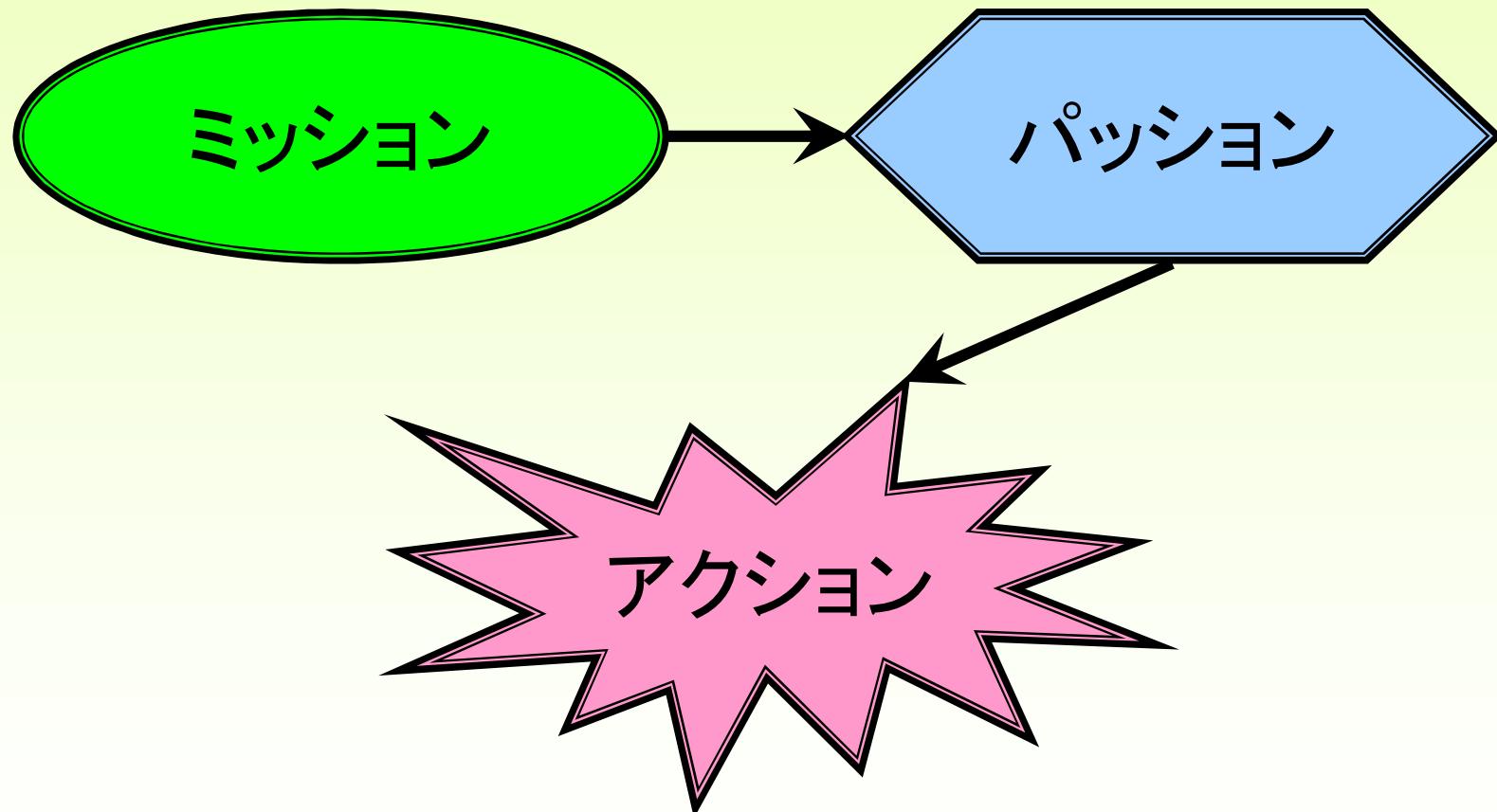
昼食	事後レポート発表	講演	事前レポート発表	夕食	グループディスカッション	情報交換会	
12:00	13:00	14:10	15:30	18:00	19:00	21:00	22:00

◆ 土曜日

朝食	グループディスカッション	グループ発表	昼食	講演	
8:00	9:00	10:30	12:00	13:00	15:00



各テーマの共通点



MISSION

到達すべき目標

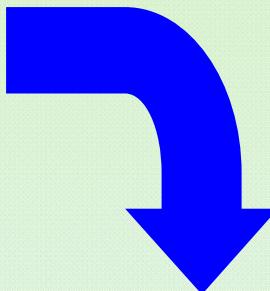
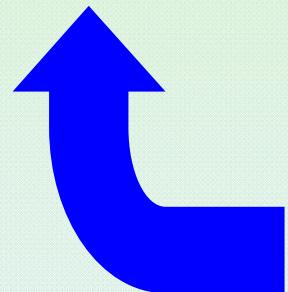
任務・使命

目標に進んでいく行動

それらが何かに求め
られていること 義務

大學職員
協働

教員



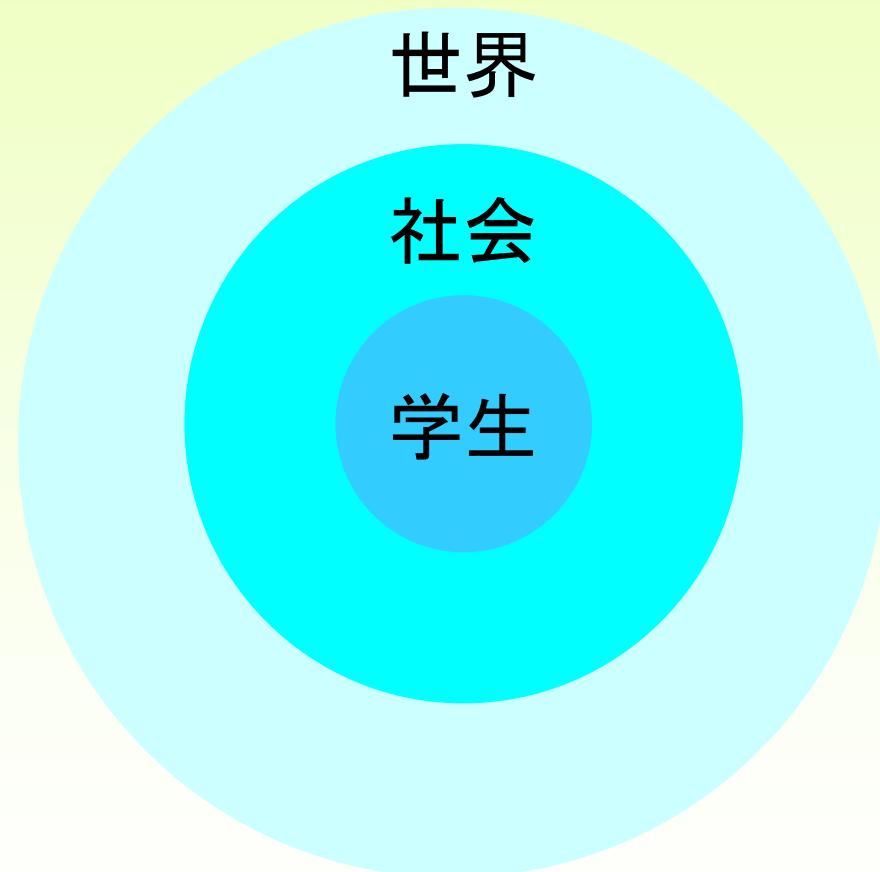
EHIME 愛媛大学
UNIVERSITY

共通のビジョン

学生のために

社会のために

世界のために



PASSION

受動…何らかの動作・作用を蒙ること

① 体験・経験

② 受難・受苦

③ 感覚・感情

感覺・感情…受動



理性・意思…能動

感情の中で最も目立つもの

情熱



EHIME 愛媛大学
UNIVERSITY

受難

情熱



否定的な概念から

肯定的な概念へ



持続・継続させるためには

- 客観的な評価 …タイミング良く
- 高揚感 …プロジェクト遂行中に

連続性・
正の連鎖



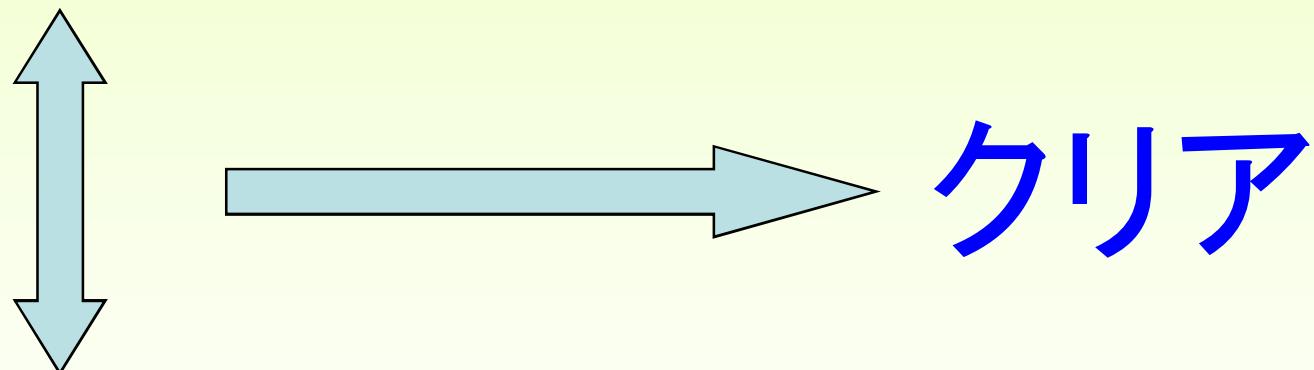
ACTION

何をするのか

何のためにするのか

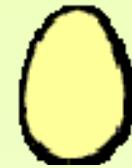
効果に対する期待 → 必要？

具体化する手段



支障となる部分

課題(ミッション)を見つける



- ◆ どのように変えたいか
- ◆ 変えなくていいのか
- ◆ 固定化・堅持しなければならない部分
- ◆ 流動的・柔軟に適応させる部分

現状認識

分析

冷静に

ミッショント
課題

思い込みの排除

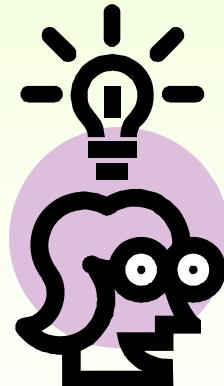


EHIME 愛媛大学 UNIVERSITY

ミッション
課題

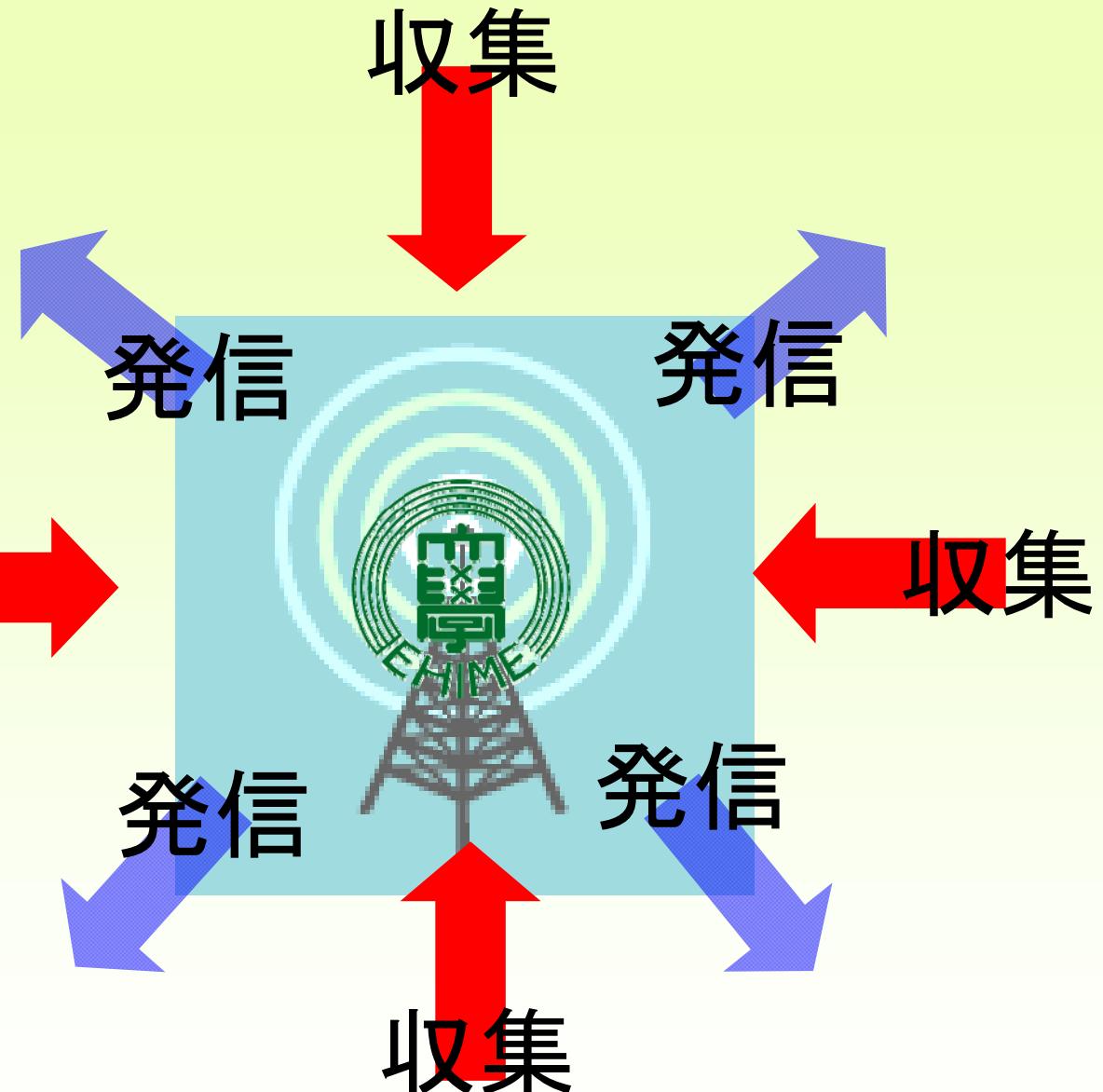
複数で

検証方法 客観的に



大学職員に
何が求めら
れるのか

大学の
アンテナ



大学職員セミナーに参加した研修生から、
グループワークの中から出た疑問

- ・大学に帰って何ができるのか。
- ・何をしなければいけないのか。

「一緒に考えましょう」

- ◆人は変えられない
- ◆目標は伝わらない
- ◆人は管理できない

漆 紫穂子品川女子学院校長（日経ビジネスオンライン2008年10月9日）



背後にある**価値観の共有**

「一緒に考えましょう」

スイッチを入れる



施設の概要

◆ 八王子セミナーハウス

松山から

飛行機：1時間20分
電車：1時間40分
バス： 10分
徒歩： 10分

合計 3時間20分

待ち時間を含めると4時間以上！



EHIME 愛媛大学
UNIVERSITY

施設の詳細①

◆講堂

発表、講演



施設の詳細②

◆交友館

グループディスカッション



施設の詳細③

◆本館

食事、懇親会



施設の詳細④

◆さくら館 宿泊



情報交換会

◆懇親会等の様子



研修を終えて…

◆ 宮川

- ・問題を認識すること
- ・解決策を考えること
- ・実際にやってみること



◆ 谷中

- ・ネットワーク構築の必要性
- ・受容体を磨く



END

ご静聴ありがとうございました！

